

令和5年2月7日

南房総市長 石井 裕 様

南房総市総合計画審議会
会 長 鎌田 元弘

第2次南房総市総合計画後期基本計画について（答申）

令和3年11月11日付け南企財第645号で諮問のありました第2次南房総市総合計画後期基本計画の策定について、慎重に審議を重ねてまいりました。

その結果、総合計画基本構想に掲げた将来像「ひと・ゆめ・みらい 地域で創る魅力の郷 南房総」の実現に向けた本計画の施策はおおむね適切なものと認めます。

なお、本計画の実施にあたっては、審議会等から出された意見を最大限に尊重し、下記に掲げる事項に留意して実行性の高い計画になるよう要望します。

記

- 1 妊娠・出産から就学・進学まで、切れ目のない子育て支援を展開するほか、本市の特性を踏まえた教育環境の充実や、子どもを育てる世代などの連携と交流の場づくりなどに努め、安心して子どもを産み育てられるまちづくりを行うこと。
- 2 市民・事業者・関係機関との連携のもとに、地域資源を活用した新産業の創出や、起業支援・新規就農者支援に取り組むとともに、「人」と「しごと」のマッチングの仕組みを強化すること。また、企業と人材の誘致を図るほか、本市の強みである観光業などの回復とさらなる発展に向けて、ニーズやマーケットの変化を捉えながら、プロモーションを強化すること。
- 3 「移住先として選ばれるまち」であるだけでなく、ずっと住みたいまち、いずれは戻ってきたいまちとして、取組を進めること。また、「人」と「しごと」のマッチングの仕組づくりと連動させながら、移住・定住希望者の相談などに対しトータルでコーディネートするとともに、住環境整備に関する支援を推進すること。
- 4 当面の間は避けられない人口減少に耐えられる社会システムへの再構築をめざし、市民等の主体的な活動と地域資源の連携・連動による「地域づくりの活性化」、地区ごとの拠点整備促進による「生活インフラの最適化」、DX推進・デジタルデバイド対策による「デジタル行政への移行」、市民の防災力・避難所機能強化による「自然災害への備え」に取り組むこと。